

International TAKIFUJI Art Award 2015

国際瀧富士美術賞 2015

第36期 奨学生 募集要項

公益財団法人 日本交通文化協会
JAPAN TRAFFIC CULTURE ASSOCIATION



「そらの港」(部分) 原画・監修: 野見山暁治(平成26年度 文化勲章受章)
福岡空港 ステンドグラス

芸術・文化の明日を担う 美大生へ

国際瀧富士美術賞は、パブリックアートの分野で能力を発揮できる人材を育てることを目的とした奨学金制度です。夢や大望を抱いた、多くの学生が応募されることを望んでいます。



わが国は人々の英知と努力により、世界に誇れる経済大国を築き上げることに成功しました。私たちの生活水準は見違えるほど向上しましたが、一方で人間として大国と呼ばれるにふさわしい国になったかどうかは大いに疑問とせざるを得ません。幸い、わが国には2000年にわたって積み上げてきた文化があります。その質と深みは、皆が等しく誇りとすべきものであり、今こそ、その潜在能力を顕在化させて、その力で直面する難関を突破し、真に世界から尊敬される国をつくり上げていく必要があります。

私は1976年に36歳で協会運営の責任者となり、各種の文化活動を展開して参りました。時代の要請もあり、活動範囲は当時に比べて見違えるほど広くなりました。

当協会が手掛ける事業の中で、高い評価を受けているものの一つに育英事業があります。とくに「国際瀧富士美術賞」は、将来を嘱望された若手芸術家を育成する奨学金制度として、長年にわたり実績を積み上げてきました。現在では、交通関係事業従事者の子弟を対象とする奨学金制度「瀧富士基金」と並んで、育英事業を担う太い柱となっています。

国際瀧富士美術賞は1980年に「瀧富士美術賞」として発足しました。その後、範囲を国際的に広げるため、1991年に名称を現在の「国際瀧富士美術賞」に改めました。参加校は、国内12、海外12美大（アジア5、米国2、欧州5）の計24校です。過去35年間の受賞者（奨学金受給者）は合計669名に達し、この中には既に有力美大の教授として後進の指導に努められている方や、芸術家として活躍されている方もおられます。授賞式と懇親会を毎年秋に東京で開催し、受賞学生とその指導教授、来賓諸氏をお招きしています。

また、当協会は、環境芸術活動の一環として半世紀以上にわたり、駅をはじめ学校、病院、市役所、企業などのパブリックスペース（公共空間）に、ステンドグラスと陶板レリーフを設置する活動を続けております。その数はすでに500点を超えるました。今後もパブリックスペースを有効活用するため、パブリックアート（公共芸術）の普及に取り組んで参ります。

さらに、他の主な事業として、1954年以来、毎年秋に東京で「交通総合文化展」を開催しています。写真と俳句の全国公募展と、当代一流の芸術家の絵画、書を展示する「瀧瀧会」（さくりょうかい）他、パブリックスペースを文化の薫りで満たす活動にも努めて参りました。公共の芸術文化に貢献してきた実績を、さらなる未来、次世代につなげて参りたいと思っております。

公益財団法人 日本交通文化協会

理事長 滝 久雄

募集要項

- ◆募集人数 20名程度 ※審査委員会で厳正審査の上、決定します。
- ◆資格 次の芸術系大学の第4学年在籍(大学院を除く)で、絵画・彫刻・デザイン・建築のいずれかの分野を専攻し、当協会の活動およびパブリックアートに関心のある者。
- 国内 ●愛知県立芸術大学(美術学部) ●沖縄県立芸術大学(美術工芸学部) ●金沢美術工芸大学
●京都市立芸術大学(美術学部) ●女子美術大学(芸術学部)
●多摩美術大学(美術学部、造形表現学部) ●東京藝術大学(美術学部)
●東京造形大学(造形学部) ●東北芸術工科大学(芸術学部・デザイン工学部)
●日本大学(芸術学部美術学科、デザイン学科) ●広島市立大学(芸術学部)
●武蔵野美術大学(造形学部)
- 海外 『韓国』 ●梨花女子大学校 ●ソウル大学校 ●弘益大学校 『中国』 ●清華大学
『シンガポール』 ●ラサール芸術大学 『仏』 ●パリ国立高等美術学校
『米』 ●アートセンターカレッジオブデザイン ●プラットインスティテュート
『英』 ●ロンドン芸術大学 ●ロンドン大学
『独』 ●シュトゥットガルト公立美術アカデミー ●ベルリン芸術大学
- ◆副賞 奨学金30万円を授賞式にて一括給付
「クレアーレ熱海ゆがわら工房」工房見学会(授賞式前日)への招待
- ◆応募締切日 平成27年6月30日(火)までに郵送または持参にて提出。※持参の場合は平日のみ受付可。
- ◆決定通知 平成27年10月中旬までに本人および大学宛に通知いたします。
- ◆授賞式および工房見学会 平成27年10月下旬～11月上旬(工房見学含め2日間を予定)
- ◆応募者作品展 授賞式当日、懇親会会場に展示します。
- ◆応募書類 (1) 奨学生願書
(2) 推薦書(推薦教授・准教授によるもの)
(3) 学業成績証明書(第3学年まで。コピーは不可)
(4) 作品写真2点以上10点まで。プリントと画像データの両方を提出。
※詳細は裏面をご覧ください。なお応募書類およびデータは返却いたしません。
※募集要項およびキャプションラベルは、<http://jptca.org/artaward/>からもダウンロードできます。
- ◆受賞した場合の義務 レポートの提出(環境芸術について/卒業制作のテーマについて のいずれか1つのテーマを選択)
- ◆応募作品の著作権 応募作品に係る著作権は、応募者に帰属するものとします。ただし、受賞者の作品およびデータについては、①当協会が本事業を広報するための印刷物やホームページに掲載する場合があること、②当協会が本事業の記録として保存するために複製する場合があることについて、あらかじめご了承ください。
- ◆個人情報の取扱い 応募にあたりご提供いただきました個人情報は、応募者に対する連絡、奨学生の選考、その他本事業の運営に必要な場合にのみ利用させていただきます。
- ◆問い合わせ先 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル8階
公益財団法人日本交通文化協会 瀧富士基金事業部
TEL:03(3504)2221(代表) FAX:03(3504)2224
※平日10時～17時 土・日・祝日は休み
E-mail:info@jptca.org ホームページ：<http://jptca.org/>

募集要項／作品の提出形態について

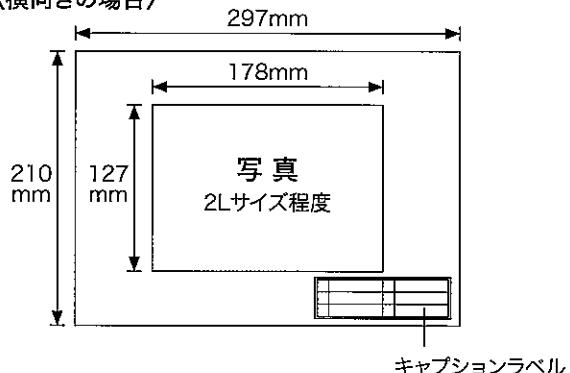
- 作品の数は2点以上10点まで（作品の写真も2点以上10点まで）。プリントと画像データ両方を提出すること。
- 1つの作品を複数枚の画像で説明することも可能。ただし複数の作品画像を1枚の写真や画像データにまとめて配置することは不可。
- 立体作品に限り、15秒以内の動画データの提出も認める。また動画の場合は、1つの動画につき作品1点のみの紹介とし、動画のみの提出は認めない。

プリントについて（※下図参照）

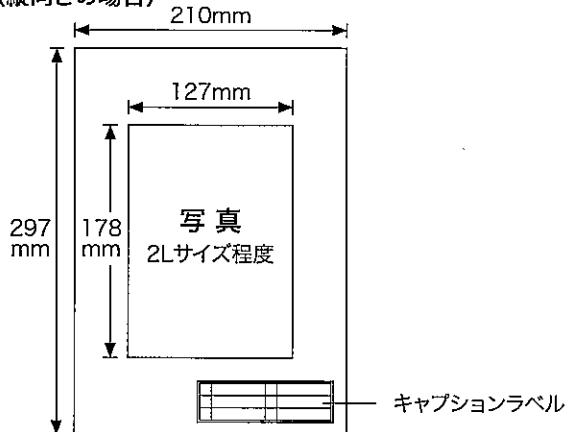
- (1) A4サイズの台紙中央に写真1点ずつを貼る。
もしくはプリントする。
- (2) 写真のサイズは2Lサイズ(178mm×127mm)
程度とする。
- (3) 台紙おもて面の右下に、必要事項を記入した
「キャプションラベル」(ページ最後にフォーマットを添付)を各台紙に貼ること。

※書類はまとめて綴じたり、ファイルに入れる必要はありません。

〈横向きの場合〉



〈縦向きの場合〉

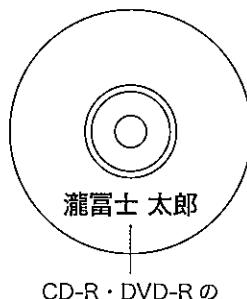


データについて

- (1) 画像データのサイズは、1点につき、150ppi 2450ピクセル×1750ピクセル以上にすること。写真データ拡張子はJPEGのみとする。動画データがある場合は、1点のデータにつき15秒以内にまとめ、拡張子はMP4の形式で保存すること。
- (2) 画像および動画データのファイル名は、作品タイトルにすること。日本語による作品タイトルの場合でも、ファイル名はローマ字読みでアルファベット表記にすること（ファイルの文字化けを防ぐため）。写真が複数枚の場合のファイル名には、「title_01」というように、箇条番号を末尾につけること。
- (3) 画像データは1枚のCD-Rにまとめて焼いて提出する（動画がある場合は動画データのみDVD-Rに保存する）。CD-R、DVD-Rのおもて面に氏名を明記すること。

※ 画像および動画データは、審査の過程で、プロジェクターによる投影を行う際に使用します。

※ 作品の色は、プリントで提出されたものを基準に審査します。



CD-R・DVD-Rの
おもて面に氏名を明記

キャプションラベルについて

- 以下のラベルに、必要事項を記入の上、A4台紙右下に貼ること。
 - 提出写真が3枚以上の場合は、必要枚数分を各自コピーの上、必要事項を記入すること。
- ※ 募集要項およびキャプションラベルは、
<http://jptca.org/artaward/>からも
ダウンロードできます。

氏名		タイトル	
大学名		寸法	W mm × H mm × D mm
専攻		材質	

氏名		タイトル	
大学名		寸法	W mm × H mm × D mm
専攻		材質	

推 薦 書

公益財団法人 日本交通文化協会 御中

2015年 月 日

大学名

学部

学科

〈フリガナ〉

推薦者氏名（教授・准教授）

印

※ 楷書体でお願いします。

下記の者は、実技優秀であり、国際瀧富士美術賞の趣旨に添う者と認めますので、奨学生として推薦いたします。

〈フリガナ〉

氏名

在学学部

学部

現在学年

第 学年 ()

(年月入学)

推薦理由（入学時より第3学年までの実技の内容その他を書いて下さい）

国際瀧富士美術賞奨学生願書

公益財団法人 日本交通文化協会 御中

2015年 月 日

国際瀧富士美術賞奨学金の給費を申請したいので、
添付書類同封の上、申込みします。

〈フリガナ〉

氏名

印

〈大学名〉

本人写真

〈学部〉

〈学科・専攻・コース名〉

添付書類

- 推薦書（推薦教授によるもの）
- 学業成績証明書（第3学年まで）
- 作品写真 2点以上10点まで。プリントと画像データの両方を提出。
※ 詳細は募集要項裏面を参照。

※ 裏面も記入すること。

事務局記入	受付	番号	年 月 日
-------	----	----	-------

〈フリガナ〉 氏名	男・女	西暦	年	月	日生(歳)
現住所	〒		電話	()	
E-mail	(P C) (携帯)		上記以外の 緊急連絡先	電話	()
〈学校名〉	〈学部・学科・コース名・専攻〉				
在学大学	〈所在地〉	〒	電話	()	

●家庭の状況

氏名	続柄	年齢	同・別居	住 所	職業
				〒 tel	
				〒	
				〒	
				〒	

●出願の理由

- 応募の際、提出した作品について（制作コンセプトあるいは技法の説明など）

- 卒業制作のテーマや将来の計画など

●その他の参考事項

- 他の奨学金を受けている場合あるいは、その予定がある時は名称と金額を記入
(名称) 年 月より 月額 円

- 他の美術賞や公募展の受賞・入選歴・代表的な展示など

日本交通文化協会が協力した主なパブリックアート作品



1972年「天地創造」福沢一郎 JR東京駅 ステンドグラス



2005年「天地の恵一花々の輝き」小倉遊亀
つくばエクスプレス流山 おおたかの森駅 ステンドグラス



1978年「江戸の四季」片岡球子 池袋サンシャイン60 陶板レリーフ



2012年「TO THE SKY」澄川喜一
東武伊勢崎線 とうきょうスカイツリー駅 陶板レリーフ



1985年「昭和六十年春ふる里・日本の華」平山郁夫 JR上野駅 ステンドグラス



2012年「佐渡ものがたり」宮田亮平 新潟空港 ステンドグラス



2000年「日月星花」高橋節郎 大江戸線汐留駅 陶板 / 自然石レリーフ
2003年「日本の鉄道パブリックアート大賞」(後援=国土交通省)国土交通大臣賞(グランプリ)受賞



2015年「金華童子風雷神ヲ從エテ波濤ヲ越ユルノ図」大友克洋
仙台空港 陶板レリーフ



公益財団法人 日本交通文化協会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル8階
TEL:03(3504)2221 FAX:03(3504)2224

<http://jptca.org/>

公益財団法人 日本交通文化協会 Facebookページ

<https://www.facebook.com/jptca.org>

国際瀧富士美術賞 Facebookページ

<https://www.facebook.com/international.takifuji.art.award>